

2022年度 腎臓総括試験 本試再現

2022年6月3日実施

※ 例年と異なり、腎臓についても問題が回収されてしまいました。泌尿器に再現のソースを割いてしまったため、腎臓についてはほとんど再現できておりません。すみません。一説によると、再試は本試と同じ問題だったということです。しかし、再現担当者の記憶によれば、正解の個数が異なるなど、本試と微妙に異なるようです。

問1

急性腎不全の治療で重要なもの3つ選べ。

1. 高K血漿
 2. 感染、消化管出血の予防
 3. 透析の血圧低下予防
 4. 代謝性アルカローシス
 5. 高尿酸血漿
- a. 1,2,3 b. 1,2,4 c. 1,4,5 d. 2,3,4 e. 3,4,5

問2

急性腎不全に対する血液透析の適応の臨床的基準について正しいものを選べ。

1. FENa(%Na排泄率) < 1.0
 2. 高K血症(> 6.0mEq/L)
 3. 肺水腫(利尿薬抵抗性)
 4. 代謝性アシドーシス(pH < 7.1, HCO₃⁻ < 12mEq/L)
 5. 尿Na濃度 < 20mEq/L
- a. 1,2,3 b. 1,2,5 c. 1,4,5 d. 2,3,4 e. 3,4,5

問3

【再現不能】

問4

【再現不能】

問5

CTにて多発嚢胞腎を疑われた患者で次に行うべき検査はどれか。

- a. 腎生検
- b. 頭部MRA
- c. 排泄性尿路造影
- d. 下部消化管内視鏡
- e. ガリウムシンチグラフィ

問 6

近位尿細管障害の指標となるものは？

- a. β 2 ミクログロブリン
- b. 赤血球円柱
- c. アルブミン
- d. イヌリン？クレアチニン？
- e. パラアミノ馬尿酸

問 8

二つ選べ。【再現不能】

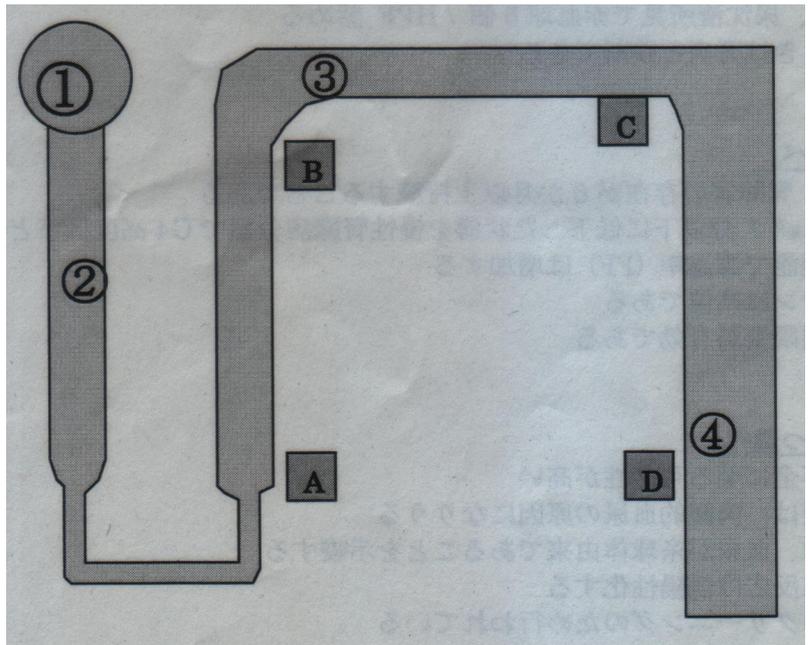
問 9

二つ選べ【再現不能】

問 10

下記図は、腎臓の構造の一部を模式的に示したものであるが 1 から 4 までの名称をア~オの中から一つ選べ。

ア:ヘンレループ イ:糸球体 ウ:近位尿細管 エ:遠位尿細管 オ:集合管



図の A~D 付近のチャネル等に関係の深いものを下記(あ~え)より選択しなさい。

- あ:アルドステロン
- い:サイアザイド系利尿薬
- う:ループ利尿薬
- え:抗利尿ホルモン

腎臓コースについて

1：出席について

基本的に、第2内科が担当する授業では出席を取ります。

当初は名簿に「○」をつける形式でしたが、途中から秘書さんが授業前に席に座っている人をチェックする形式に変わりました。

2：腎臓のグループ発表統括、アクティブラーニングについて

第7週のアクティブラーニング(吉田先生ご担当)では、前日にテストが配られ、翌日の10:45までに学務前ポストに提出というかたちで行われました(アクティブラーニングの時間帯は拘束されず)。

第7週のグループ発表統括(吉田先生ご担当)は、コアタイムで扱った症例について、あらかじめ指定されたグループが発表を行い、あらかじめ指定された別のグループが質問を行う形式でした。もっとも、質問はほとんど出ず、一つだけで終了しました。

3：腎臓の合否情報など

本試の実施日は2022年6月3日、発表は2022年6月15日でした。

再試対象者は12名。

再試は2022年6月22日(水)(消化器・検査・血液腫瘍学の3週目)でした。

再試の合否発表はありませんでした。

4：その他、試験情報など

第2内科のレポートについては、誰がどの回について未提出なのかということが一目瞭然なかたちで掲示板に張り出され、至急提出するようにとの連絡がなされました。わざわざ提出の機会を与えてくれているということは、救済する気満々なのではないでしょうか。